

(8) 足の筋

足には手と同様に指の運動に働く多数の小さな筋があるが、細かい運動を行わないため手のように発達していない。

6) 頸部の筋 muscles of neck

頸部の筋は前頸部の筋、外側部の筋、頸椎の前面にある筋などに分けられる(図3-39, 表3-12)。頸椎の後面にあって首の後屈に働く筋群は固有背筋に分類される^{注1,2}。

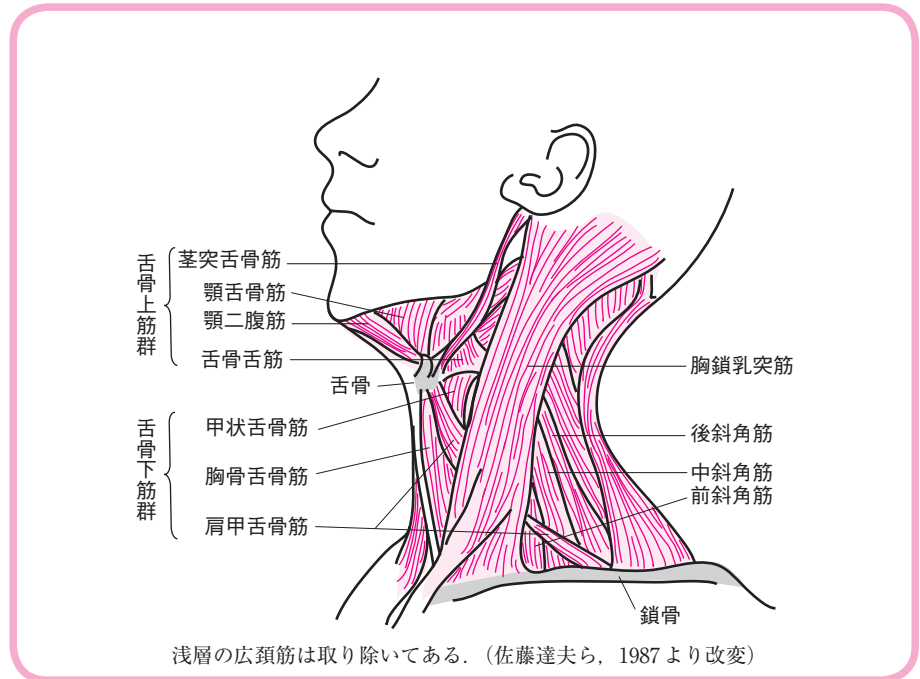


図3-39 頸部の筋

表3-12 頸部の筋の解剖と生理

	筋	解剖	生理機能	神経支配
前頸部	舌骨筋群	舌骨の上につく舌骨上筋群と、舌骨の下につく舌骨下筋群。	下顎骨を引き下げる。嚥下運動にも関与。	三叉神経と舌下神経など
外側部	胸鎖乳突筋	胸骨と鎖骨から起きて、側頸部を斜めに走って、側頭骨の乳様突起に停止する。	両側の収縮で頸を前屈させ、一側の収縮で頭を傾ける。	副神経と頸神経叢
頸椎前面の筋	斜角筋	頸椎から起こり第1～2肋骨に停止する。前、中、後斜角筋の3対がある。	首を動かす。肋骨を引き上げて胸郭を広げる。	頸神経叢と腕神経叢
	椎前筋	頸椎の前面にある。	首の前屈、側屈に働く。	

注★1. 胸鎖乳突筋の損傷：難産によって、損傷して児に斜頸を残すことがある。

★2 斜角筋症候群：前斜角筋と中斜角筋の隙間を腕神経叢と鎖骨下動脈が通るが、神経がここで圧迫されて腕の神経が麻痺することがある。